

## 空いた時間にまちづくり ～あなたの暇を有効活用～

従来のまちづくりのほとんどは行政がまちづくり案を作りそれを実行するものだった。まちづくりでは、近年ワークショップなどが開かれてはいるが参加する者はほんの一部の住民であり、他に気軽に意見を出す場がないのが現状である。

私自身、一人の住民として意見を出したいとは思いますが、なかなかそんな機会や時間がなく、そう思っている人は少なくないと思う。

しかし、現代では住民の意見を気軽に得る為のツールが数多く存在している。

そこで私が目つけたのは、**SNS**だ。

近年、携帯電話でスマートフォンを使う者が多くなり、SNS を利用するものが現在の日本において、2012年12月の段階で4965万人ということが分かっている。さらに、利用者は現在でも増加している。ということは、**SNS で土木事業を広め、活用すると同時に広告することも可能だ。**

### (SNSのメリット)

- ・気軽に意見が出せる。
- ・意見を出すためにどこへも行かずに、その場で意見が出せる。
- ・SNS ということで若者の目にとまりやすいため、これからの若い世代のまちづくりに対する意識の向上が期待できる。

### (住民意見を取り入れるメリット)

- ・行政関係者だけでは目の届かない場所があり、改善した方がよい場所を住民が知っている場合がある。
- ・街に住んでいるのはあくまでも住民であり、そのまちづくり案を出す行政が住んでいるわけではないため、その地域の住民が不便に思っている事などの生の意見が聞ける。
- ・住民が出した意見を取り入れることによって、住民もまちづくりに関わりその地域に愛着が湧く。

### (SNSの利用方法)

- ・SNS を通じてまちづくりの現状についてアンケートをとる。
  - ・SNS 内においてコンテストなどを行い、多くの人に参加してもらいよりよい街についての理想像を明確にする、また改善が望まれている地域など意見を集め改善の検討を行う。
  - ・さまざまな分野において、意見調査を行うにあたって利用可能。(例：交通意見調査)
- 他にも多くの利用法が考えられる。

### (利用方法の例)

ここでは、幅広い建設分野の中でも市民が身近に感じられる「景観」をテーマに考える。景観とは言っても、景色のようなニュアンスで捕らえてもらえればと思う。

あなたの意見で変わるまち ～この景色を変えるのはあなた～  
企画内容

1. SNS やインターネットで広告を見た人が思う改善したい景観を一定期間募集し投稿してもらう。(写真要) 誰でも投稿 OK! 複数案可。
2. 集まったものから審査委員がある程度の数に絞り込む。ここでの審査基準はその地域に合った景観か、改善が必要かを採点基準とする。
3. 再び SNS 等で最終候補を公開し、多くの人に投票してもらう。一人一票のみ。コメント欄を設け、投票する住民の意見も取り入れる。
4. 順位を決定し上位を確定する。このときの上位の細かい順位は出さない(自分たちの街が良くないことで1番になってもいい気はしないため)その後、企画を取り仕切る組織がそのまちの役所などに住民の意見を伝え、改善策の提案を行い、協力して改善に取り組む。可能であれば、ボランティアを募集し住民が参加することで、住民の地域への愛着が強まる。
5. 改善後の状態を公開し、参加した人々に成果を知ってもらう。やりっぱなしで終わらせない!

+αで部門を入れるなどの工夫を行う。

<b>街中部門</b>	主に街の中に存在している景観を対象に扱う。 例) せっかくの町並みが電柱に覆われているのでこの景観を改善してほしいです。 など
-------------	--

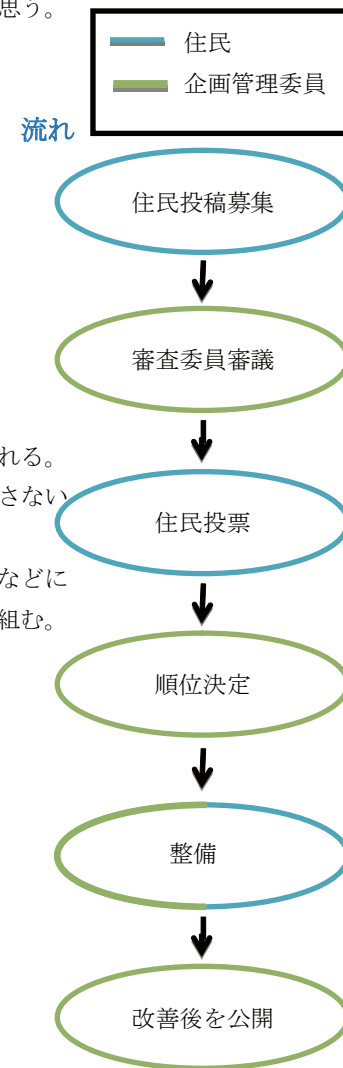


※成田市 電線類地中化事業 引用

<b>自然・環境部門</b>	主に自然環境に関連する景観を対象に扱う。 例) 海岸にゴミがかなり捨ててあって近づきにくく、せっかくのいい景色が台無しなので改善してほしいです。 など
----------------	--



※博多湾 海岸の整備 引用



### (メリット)

- ・住民の意見を取り入れた街の景観の改善
- ・SNS やインターネットによる、多くの住民参加 (多くの意見収集)
- ・参加者の景観に関する考え方の変化 (今まで気にも止めていなかった者が景観を守るように行動しだす可能性がある)
- ・改善したものを公開することによって、自分も改善事業に関わりたいと思う人が現れたり、景観について調べる者が出てくる。そして、景観は主に土木事業という知識が付き、土木自体に興味を持つ人が増え土木業界の人口も増える。また、土木は多くの分野において景観を考えなければならないため日本人の景観意識の底上げにも効果が見込める。

人々の景観意識の向上に繋がる!

### (この企画に対する課題と対策)

#### (課題)

1. 意見回収後、改善のために市役所等の理解・協力が必要不可欠。
2. SNS を利用するに当たって利用者の年齢層に偏りが出る場合がある。
3. 悪ふざけで投稿する荒らしの出現。

他にも、狭い範囲での意見収集が厳しいなどの点があり、対策が困難なものには考慮が必要であり、この方法が使えるかどうかの見極めが必要だ。

#### (対策)

1. 事前にワークショップや説明会を開き、企画の利点を伝え理解を得る。
2. SNS と同時にインターネットでも意見が出せるようにする。また、家族内の話題にあがることによって40代、50代の耳にも入り、年齢層の幅も広がる事が期待できる。
3. 一回目は防ぎようがないため、次回からそのアカウントは参加できないように対策をとる。

#### (おわりに)

最後に、**SNS** はあくまでも方法の1つだということはしっかりと理解していただきたい。**SNS** だけである程度調査できるものもあるが、それはほんの一部のものであり、**SNS** と組み合わせることによって、**SNS** の効果が発揮される調査ばかりだ。例えば、すべての年齢層の意見を得るならば、**SNS** で得られない年齢層の高齢者の方は福祉施設に広告をお願いし、インターネットで意見をもらうなどして、2つの方法を組み合わせたりすることで利用する。**SNS** は今でも多くの機能が追加され進化しており、今回紹介した利用方法以外にもこれから、利用の幅がどんどん広がっていくという期待もおおいに持てる。**SNS** を用いた住民参加の効果は絶大で上記以外の使い方でもいくらでも応用が効くものである。**ほんの少しの空き時間が大きな事業の一部になる。**

この提案がその第一歩となればと思う。